

街中の自然「屯田防風林」を次世代に残したい

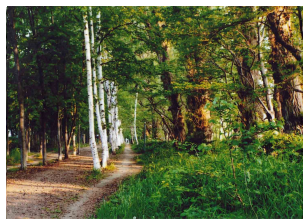
ポプラ通りを守る会 会長 木村 美太郎

1 ポプラ通り（通称 屯田防風林）の概要

明治7年に北海道の整備と開拓を目的に誕生した「屯田兵制度」。その地名が唯一残った屯田地区への入植は明治22年で、札幌に設置された兵村の中では最も遅い開村でした。入植時から稲作を続けた屯田兵が、強風から農作物を守るため「コ」の字形に自然林を残し、約8kmにわたって作った防風林の一部です。

国有地であった防風林の一部を緑地として整備する構想が持ち上がり、平成4年度に札幌市が用地取得に着手。平成10年度に延長2.2km、幅員30～65m、面積10.5haの「ポプラ通中央緑地」として整備を完了し、同年、建設大臣より「手づくり郷土賞」を受賞しました。緑地は、防風保安林・保健保安林に指定されており、林内では、樹木74種・草花48種（平成元年）が確認され、季節ごとに色々な草花が鑑賞できます。

また、日本ウオーキング協会の「美しく歩きたくなる道500選」に、北海道では15か所、札幌では唯一「ポプラ通り」が選ばれています。今や、自然林の散策道として地域住民に親しまれ、早朝より毎日200人以上の方々が、散策を楽しんでいます。



最近の屯田防風林

2 「ポプラ通りを守る会」の概要について

屯田地区と新琴似地区の境に位置する「屯田防風林」。「ポプラ通りを守る会」は、その近隣の町内会、屯田6・新琴似西2・新琴似8・商工会1、計17団体で構成されています。「ポプラ通り」の完成後、平成13年7月に結成され、17年間活動を続けております。結成の目的は「樹木等の過密化する問題点」「不法投棄等の問題」「緑地景観の維持」等を、地域住民の声を吸い上げ、行政と協

調して問題解決を図ることです。そして、この「ポプラ通り（屯田防風林）」を後世に残すため、様々な活動を展開しています。以下にその活動の一部を紹介します。

《特定外来生物「オオハンゴンソウ」駆除作戦》

林内外の在来野草花を侵食している代表格は「オオハンゴンソウ」と「ノラゴボウ」です。特に最近では、「オオハンゴンソウ」の繁殖が著しく、増加の一途にあり、「オオウバユリ」や「スマイレ類」「エゾエンゴサク」等を侵食する勢いにあります。私たちも、5年程前からその状況に気付き、毎年、30～40人の参加で、駆除に取り組んできましたが、少人数の作業で十分なる成果を見るに至らず、黄色の花が異常に咲き乱れています。そこで、今年より3年計画で大規模な駆除作戦を実施することにしました。

まず今年度は、「屯田地区Cネット会議」の協賛を得て、下記要領にて、取り組みを実施しました。

1. 実施日 平成30年7月21日（土） 10:00～12:00頃（雨天の場合は翌22日 同時間とする）
2. 駆除場所 屯田防風林（麻生入口～屯田西公園まで約2.2km）
3. 駆除対象生物（植物） 特定外来生物「オオハンゴンソウ」（キク科：オオハンゴンソウ属（大反魂草））
 - ◆ 多年草。原産＝北アメリカ（花期8～9月・草丈100～250cm）。群落をなす。
 - ◆ 全道各地に分布（10数年前に厚岸町がアヤマ公園を守るために全町民で駆除作戦を行った）
 - ◆ 種子ができる前に根から抜き取る。
4. 駆除作戦期間・3年間継続して行う。
 - ◆ 1年目・屯田Cネット会議、2年目・新琴似Cネット会議（予定）、3年目・ポプラ通りを守る会で実施します。
5. 動員人数・120名を予定

◆街中の自然「屯田防風林」を次世代に残したい

◆・各町内会 2～3 人 ・屯田 C ネット構成諸団体 ・会員町内会 2～3 人 お願いします

◆同封ハガキに参加者を記入しご送付ください (期限 7 月 16 日 (月) まで)。

6. 用意するもの

◆参加者方には、園芸用シャベル (お持ちの方はご持参願います) 軍手等を用意してください。

7. 当日、北区土木部が全面的に支援してくれます

◆草運搬の手伝い (引き抜いた「オオハンゴンソウ」の回収・運搬を手伝う)

当日は、天候にも恵まれ約 140 人の方が集まりました。林内、全長 2.2km 遊歩道内と道路側に分かれ、繁殖している「オオハンゴンソウ」(開花前) を根から抜く作業を実施しました。

参加した方々からは、「『オオハンゴンソウ』が生えていることも、名前も知らなかった」「家の近くに素晴らしい自然が残っていることを改めて実感した」といった声が聞かれました。

明年引き続き実施することで「オオハンゴンソウ」の撲滅も、この屯田防風林を守る重要な作業と思っています。



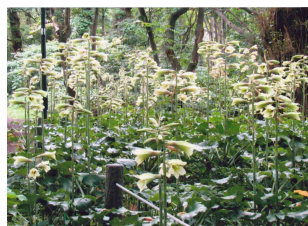
駆除作業の様子 (ミーティングと作業風景)

≪「オオウバユリ」を保護する活動≫

屯田防風林のシンボル「オオウバユリ (大姥百合)」は、以前、麻生入口より屯田西野線まで 2.2km 間に大群落を形成、また、アイヌの人たちの貴重な食糧として、知られています。

行政も「進入禁止」の柵を設置して保護に取り組んできましたが、最近の大気汚染、環境変化等、また、「クマイザサ」の繁殖、カラスの被害もあり、今は、2000～3000 本と減少の傾向にあります。

開花寸前のオオウバユリの茎にカラスが穴を開け、茎が倒されるという被害が続出 (平成 29 年 411 本) したことから、数年前より



オオウバユリの群落

赤・黄・黒等のビニールテープを巻き保護策を講じてきました (今年は 82 本に)。今後も専門家の指導を得て、北区土木部と協調し現状の生態を維持すべく保護策に力を入れていきます。



カラスによる被害と茎にテープを巻いたところ

≪毎年定例の林内調査会≫

私たちは、防風林内の樹木の危険度 (枯木・折枝からの倒木) により、黄色テープを巻いたり、諸施設や水辺のチェックを行うなど、林内全体の点検調査を実施しています (平成 30 年度は 10 月 21 日に 20 名の参加で実



施)。その結果をまとめた「調査報告書」を基に北区土木部と改善要望の協議を行っています。また、「報告書」を基に翌年、早々に「当守る会」「北区土木部」「維持管理業者」の三者で林内 2.2km を歩き、現場確認を実施し、防風林内の維持管理と散策される人たちの安全を確保するための活動を続けています。

3 今後に向けて

屯田防風林も、大気汚染、地球温暖化等の環境変化、また、外来種の侵入により、その姿が変わっていくのは止められない現実です。

200 万都市札幌市に残された「街中の自然、防風林」を、「安心・安全の街づくり」の一環として、地域住民の「健康と癒しの空間」と位置付け、この素晴らしい森林を次世代に残していければと思います。そのためには、地域住民の理解と協力、そして私たちも、努力、研さんする事はもちろん、行政とも協調しこれからも活動を続けていきます。

○お問い合わせ

ポプラ通りを守る会 市澤

TEL. 090-9086-3497